

P29

国際育成会連盟は、施設で生活している私たちの会員に、自分たちの家族と話ができているかを尋ねました。

半数以上の方が、入所施設の職員は、Zoom やその他の機器を使って自分たちの家族や友達と会話をする手伝いを、手伝ってはくれなかったと話しています。

国際育成会連盟の会員は、施設で生活する人達が、コロナウイルスの影響で多くのサービスを受けることが出来なくなっているとも話しています。

多くの入所施設で、規定より少ない職員で対応していて、利用している皆さんが十分な支援を受けることができていないということになります。

ルーマニアの以前、入所施設で生活をしていた Eli は以下のように話しています。

入所施設での生活は自分たちにとってとてもきつく、そしてみんなとても怒っています。彼らの施設から外出こともできず、そして彼らの多くが知的や身体の障害を理由に、まず最初に会社から解雇を言い渡され仕事を失っています。私は、コロナ禍において人々を施設から連れ出すことを、国へ働きかけることが重要であると思っています。

P30

知的障害のある人たちは、行政が、自分たちが入所施設で安全に生活するために、十分なことを行っていないと確信しています。

コロナ禍における障害者の権利に関するモニター調査で、10 人中 8 人の知的障害・ダウン症・自閉症の皆さんがこのように言っています。

コロナ禍において、施設で暮らす皆さんは、安全ではありません。というのは、入所施設は人々が生活するのに安全な場所ではないからです。

これはまた、コロナウイルス以前からの問題でもありました。

P31

行政は何をすべきか

行政が、コロナウイルス終息後の社会をより良くするためにはどうしたらよいか計画をたてる時、入所施設についてもその計画の中に入れていなければいけません。

これが行政のやるべきことです

1 入所施設の閉鎖

規模の大小にかかわらず、閉鎖されるべきです。

2 入所施設で生活する人たちが、安全に地域移行させること

行政は、施設で暮らす人たちが、安全に地域移行できるよう計画を立てる必要があります。地域移行する人たちは、支援を必要とし、行政は、財政的にその支援をしなければいけません。

3 地域に、必要なサービスが無ければいけません。

地域移行する人たちの自立のためには、地域社会に支援やサービス等が必要となります。自立した生活を送るためには、大切なことです。

もし行政が上記の3つを実施すれば、知的障がいのある人たちは、入所施設から離れ、それぞれの地域で生活することができるようになります。これは、もし新型コロナウイルスのようなことがまた起こった場合にも、皆さんが安全に生活することができることを意味しています。

P32

社会保障

社会保障とは、行政が人々をどのように支えるかということです。

以下は、社会保障の一部になります

- ・人々が生きていく上で十分なお金を提供する
- ・住まいのない人々に対して住居を確保する
- ・人々に医療体制を提供する

社会保障は、より社会的に弱い立場の人々にとって大切なものです。貧困に陥りやすい障害のある人達も含まれます。

コロナ禍で多くの人々が仕事を失い、お金を稼ぐことができなくなりました。社会保障のプログラムが、より一層重要になってきました。。

P33

多くの国では、仕事を失った人々に対して、現金給付のような、新たな社会保障のプログラムを導入しています。

知的障害のある人やその家族にとって、これらの新しいプログラムは彼らの生活を助けるために十分なものではありません。

知的障害のある人々は、他の障害の人々よりも、公的機関の手当を得るためにより多くの挑戦をしてきました。

P34

会員の皆さんからは、自分たちの国の新しい社会保障のプログラムは、利用し難かったと話しています。

新型コロナウイルス以前に仕事をしていなかったのに、社会保障の新しいプログラムを利用できませんでした。中には、新しいプログラムを申請することが難しかった為に、社会保障を受けることができなかった人もいました。

多くの人々が、新型コロナウイルス以前から、同じような問題を持っていました。コロナ禍の新たな社会保障のプログラムも、旧来と同じ問題を抱えていると言えます。

P35

行政はなにをすべきか

社会保障は、人々が安全で健康な生活を送るうえで、重要なものです。社会保障のプログラムには、知的障害のある人たちも含まれるものである必要があります。

これが行政のやるべきことです

1 社会保障は全ての人々のニーズに応えられるものであること

障害のある人々には個々の異なるニーズがあります。社会保障プログラムは、その個々のニーズに柔軟に対応できるものでなくてはなりません。

2 社会保障は利用しやすいものでなければいけません

社会保障のプログラムに関する情報は簡単に得られるものでなくてはなりません。また、

簡単に申請できるものでなくてもいけません。

- 3 社会保障プログラムに、仕事による制限があってははいけません
多くの社会保障プログラムは、障害にかかる費用の支払いを助けるものになっています。
これらのプログラムは、仕事がないと受けることのできないものであってはなりません。

P36

教育

新型コロナウイルス以前、知的障害のある多く人たちは、学校に行くことができていませんでした。

コロナ禍でこの問題は悪化しています。

新型コロナウイルスの影響で多くの学校が閉鎖されているからです。

いくつかの国では、障害のない生徒に対して学校を閉鎖しているが、障がいのある生徒はコロナの危険がある中で危険であっても、学校に通っているというところもあります。